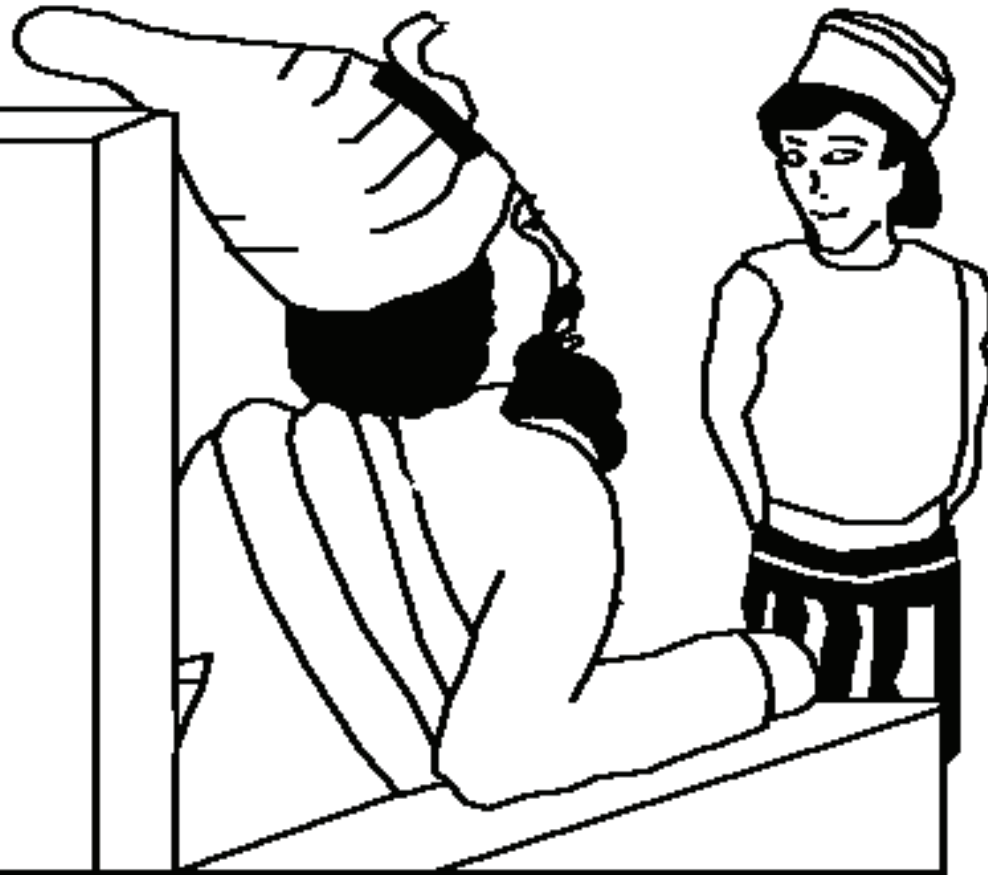


こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



どれい

ヨセフを

まも

かみ

守られる神



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: M. Maillot; Lazarus

かいさくしゃ

改作者: M. Maillot; Sarah S.

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

www.M1914.org

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

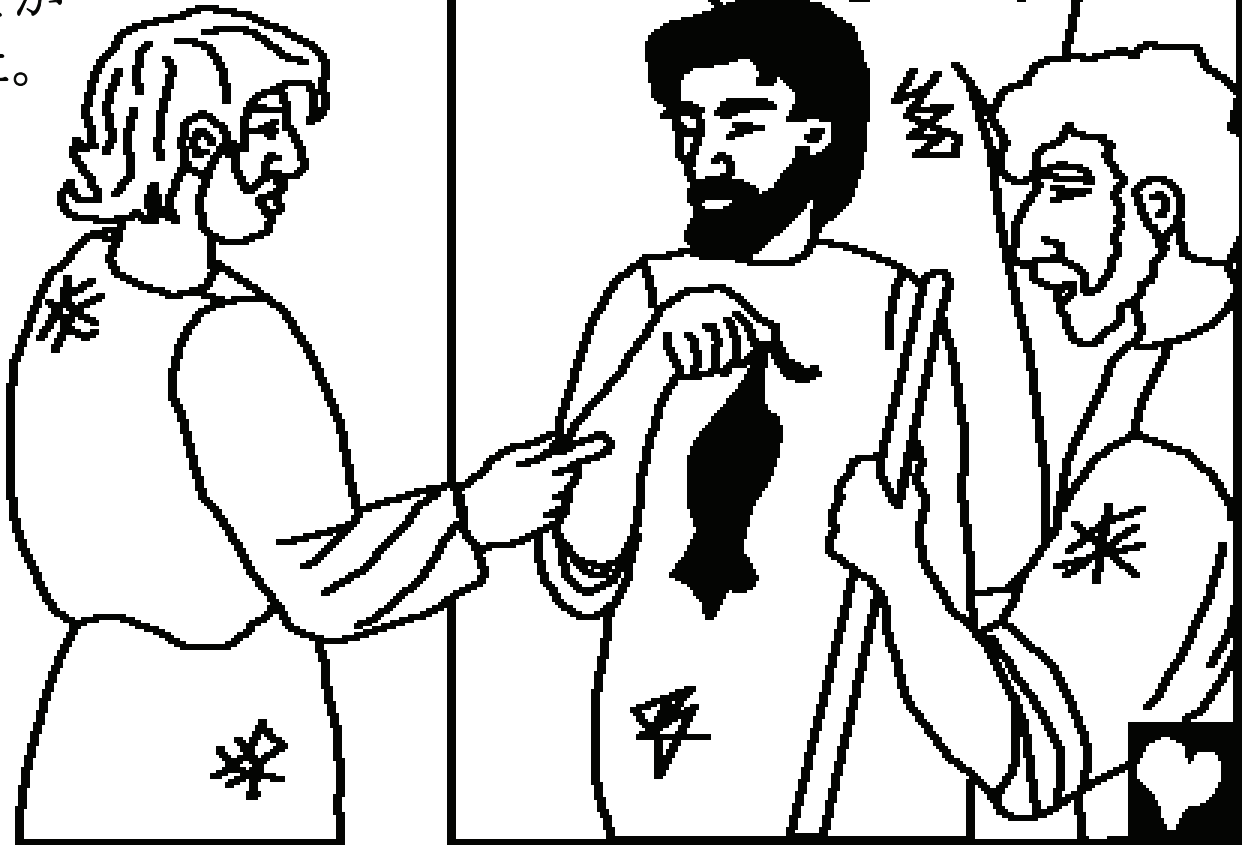
Canada

©2007 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



ヨセフは、なぜかわからないまま、ヨセフの^{まえ}前
の^{しゅじん}主人ポティファルに、^{ほう}ろうやに^{ほう}放りこまれて
しまいました。^{なか}ろうやの^{なか}中で、ヨセフは^{いっ}いっ
^{ばたら}しょうけんめい^{しごと たす}働き、^{ばんにん}みんなの^{ばんにん}仕事を^{たす}助けま
した。そこで、^{しん}ろうやの^{やく}番人はヨセフを^{しん}すっか
^{しん}り^{やく}信じ、^{やく}ろうやの^{やく}まとめ^{やく}役をか
れに^{かみ}まかせる^{かみ}よう^{かみ}なり^{かみ}ました。
^{かみ}神^{かみ}さまが、^{かみ}いつも^{かみ}ヨセフと
^{かみ}いっしょ^{かみ}に^{かみ}いて^{かみ}くださ^{かみ}った
ので、^{なか}ろうやの^{なか}中^{なか}に^{なか}いる^{なか}人
たちは、^{きも}みんな^{きも}とても^{きも}気持
ち^{せいかつ}よく^{せいかつ}生活^{せいかつ}できる^{せいかつ}よう^{せいかつ}にな
って^{せいかつ}きました^{せいかつ}よ。



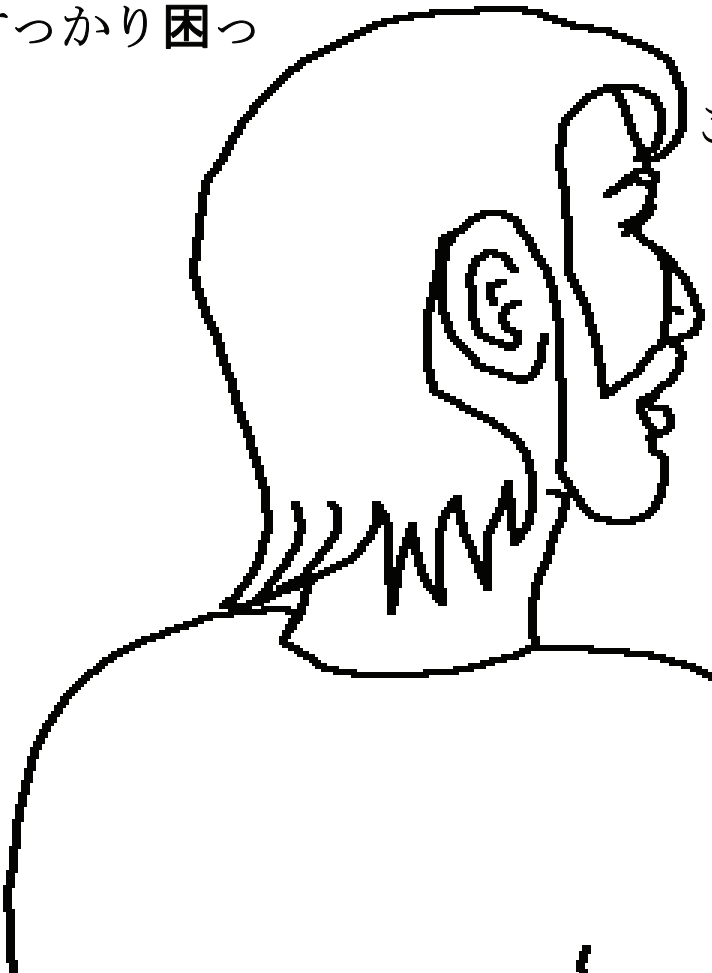
さて、このろうやに、^{おう}王さまの^{りょうりやく}料理役と^{きゅうじやく}給仕役

^いが入れられていました。ある^ひ日のこと、ヨセフはかれらに^き聞きました。「どうして、そんな

^{かな}に^{ふたり}悲しそうなかおをしているのですか。」二人は

すっかり^{こま}困っ

たようすで、
^{こた}このように答
えました。



「わたしたちは、ゆめをみたのですが、だれもそのゆめがどんな意味なのか、わからないのですよ。」
「神さまにきけば、いいのですよ。なんでもわかっていらっしゃるのだから！」ヨセフはこう言い、「さあ、

言ってみてください。

それは、
どんなゆめなのですか。」
とたずねました。



「あなたのゆめの意味はね、三日たてば王さまファラオの所にもどり、また王さまに仕えるようになるってことですよ。ですから、どうか私のことをおぼえていて、王さまに、私をろうやから出して自由になれるように、たのんでください。」

ヨセフは、給仕役にこう
言いました。けれども、
料理役のゆめは、わるい知らせ
でした。「三日たてば、
あなたは殺されてしまうでしょう。」
とヨセフは、言いました。
ほんとうに二人は、そのゆめのとおりになった
のです。



きゅうじやく

さてそれから、**給仕役**は、ヨセフのことなどすっかりわす

ひ め

れてしまいました。ある日、目がさめたファラオが、すっ

こま

み

わたし

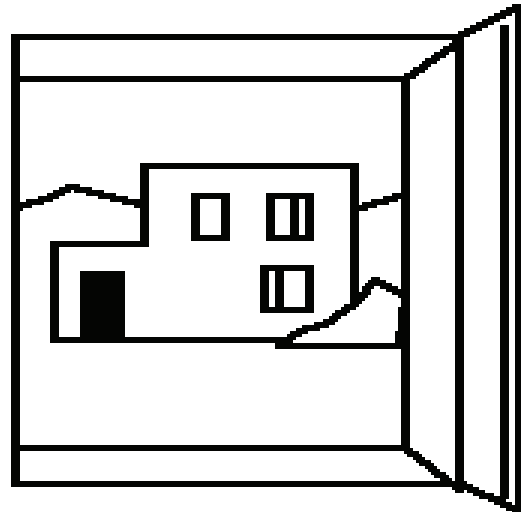
かり**困**ったかおをしているのを見るまではね。「私は、

み

ゆめを見たんだよ！」ファ

ラオがさげびました。

でもね、だれもファ



ラオのゆめがどう

い み

いう **意味**なのか、

ひと

わかるようなかしこい人は

いませんでした。そこ

きゅうじやく

なか

で、**給仕役**は、とつぜんろうやの中に

おも だ

いるヨセフを**思**い出したのです。かれは、

はな

さっそくファラオにヨセフのことを**話**しま

した。



ファラオは、すぐに^{つか}使^だいを出し、ヨセフにここへ^く来^くるように
^い言^いいました。「^{おう}王^{おう}さまの^{かみ}ゆめ^{かみ}は、^{でんごん}神^{でんごん}さまからの^{でんごん}伝^{でんごん}言^{でんごん}なのです。」

ヨセフは^{おう}王^{おう}さま^{しちねん}ファラオ^{しちねん}にそう^{しちねん}い^{しちねん}い^{しちねん}ま^{しちねん}した。「エジプトは、これから^{しちねん}七^{しちねん}年の^{しちねん}あ^{しちねん}い^{しちねん}だ、^{のうさくぶつ}た^{のうさくぶつ}く^{のうさくぶつ}さ^{のうさくぶつ}ん^{のうさくぶつ}の^{のうさくぶつ}農^{のうさくぶつ}作^{のうさくぶつ}物^{のうさくぶつ}が、^{しちねん}ゆ^{しちねん}た^{しちねん}か^{しちねん}に^{しちねん}み^{しちねん}の^{しちねん}り、^{しちねん}そ^{しちねん}し^{しちねん}て^{しちねん}つ^{しちねん}ぎ^{しちねん}の^{しちねん}七^{しちねん}年^{しちねん}は、^{しちねん}ひ^{しちねん}ど^{しちねん}い^{しちねん}き^{しちねん}き^{しちねん}ん
^{のうさくぶつ}と^{のうさくぶつ}な^{のうさくぶつ}り、^{のうさくぶつ}な^{のうさくぶつ}に^{のうさくぶつ}一^{のうさくぶつ}つ^{のうさくぶつ}農^{のうさくぶつ}作^{のうさくぶつ}物^{のうさくぶつ}が^{のうさくぶつ}と^{のうさくぶつ}れ^{のうさくぶつ}な^{のうさくぶつ}く^{のうさくぶつ}な^{のうさくぶつ}っ^{のうさくぶつ}て^{のうさくぶつ}し^{のうさくぶつ}ま^{のうさくぶつ}う^{のうさくぶつ}で^{のうさくぶつ}し^{のうさくぶつ}ょう。」



おう いま けいかく た
「王さま、どうぞ今、計画を立てて

ください。これからのゆたかに実る

しちねん あいだ た
七年の間に、食べるものをたっぷり
とたくわえてください。」ヨセフは
ファラオにこうおしえてあげまし

た。「そうしないと、あなた

くに ひとびと
の国の人々は、ききんのた

し
め死んでしまうでしょう。」

かみ
「ヨセフ、神はいつもおまえ
といっしょにおられる。

おまえにこのエジプトの

くに わたし
国をまかせよう。私につ

づく次のものとしてだ。」

ファラオは、きっぱりとこ
い
う言いました。



それから^{しちねんかん}七年間、みのりの^{とき}時がやってきました。そして^{つぎ}次の^{しちねんかん}七年間は、ききんの^{とき}時でした。^{たべもの}食べ物は、すっかり^た足らなくなってい、どこへ^い行ってもみつきり

ません。でも、みんなが、いっしょうけんめい^{はたら}働いて、たくさんの^{たべもの}食べ物をたくわえてあったエジプトだけは、だいじょうぶ。ここから、とおくはなれているヨ

^うセフの^た生まれたところでは、ヤコブのかぞくが、^た食べるものがな^{こま}くて^{こま}困って^{こま}いました。



くに ひとびと

か

い

たくさんの国の人々が、とうもろこしを**買**おうとエジプトに行くようになりました

い

むすこ

た。「おまえたちも**行**かなければなるまい。」ヤコブは、**息子**たちにめいれいしました。「もしないと、われわ

た

し

れは**食**べるものがなくなり、**死**んでしまうことになる。」

むすこ

そこで、**息子**たちは、

い

た

エジプトに行**っ**て**食**べ

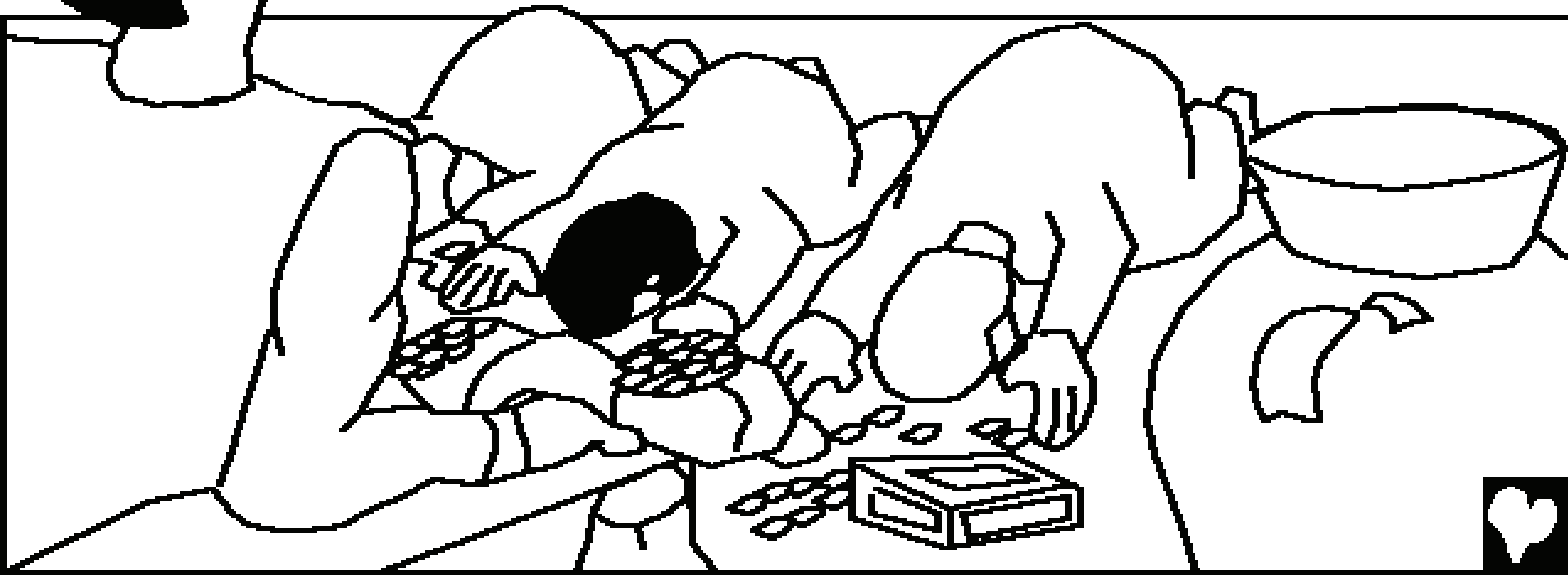
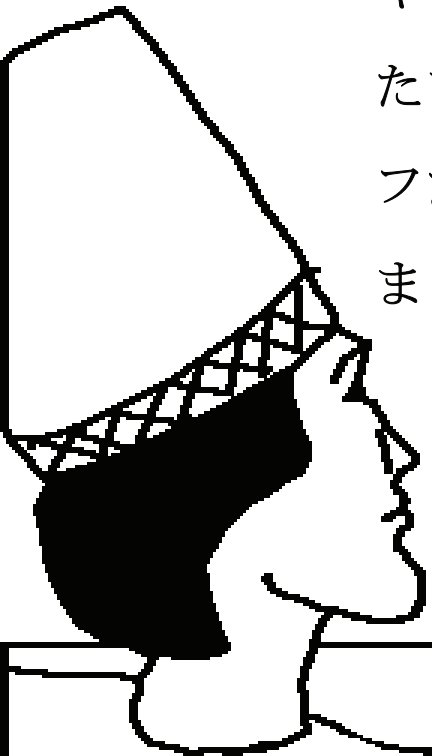
か

もの**を**買**う**じゅんび

を**し**ました。



むすこ くんしゅ ひと まえ
ヤコブの息子たちは、エジプトの君主のようなえらい人の前で、あ
ひく さ ひと
たまを低く下げて、おじぎをしました。かれらは、その人が、ヨセ
き
フだって気がつきませんでした。でもね、ヨセフは、すぐ気がつき
ちい み おも だ
ましたよ。そのとき、ヨセフは小さいころに見たゆめを、思い出し
かみ い
ました。神さまがヨセフに言われたゆめ、それは、かれが兄さ
もの
んたちより、えらい者となるだろうということでした。



ひと
ヨセフは、たいそうかしこい人でした。かれは、わざと、
にい はな にい ひとり
兄さんたちにらんぼうに話し、兄さんの一人シメオンを、ひと

お
じちとしてここに置くことにしました。「さ

たべもの いえ
あ、食べ物をもっていけ！おまえたちの家

した
にもどり、いちばん下の

おとうと
弟をつれて、



ヨセフは、こうめいれいし、「それで、
わたし
私はおまえたちがスパイでないことが、
い
わかるだろう。」と言いました。



にい おも かみ
兄さんたちは、思いました。もしかしたら、神さまは
じぶん ぼつ
自分たちに罰をあたえられているのかもしれないって。
なんねん おとうと
何年もまえに、弟ヨセフをどれい。



わたし はら かね なか

「あれっ、**私**たちが**払**った**お金**が、とうもろこしの**ふくろ**の**中**に

くんしゅ ひと

もどされているよ。それに、あの**君主**のような人は、

わたし

私たちにベニヤミンをつれてくるように、

むすこ

めいれいしたんだよ。」ヤコブも**息子**たちも

なに なん

何が**何**だかわからなくなっていました。



ヤコブは、ベニヤミンを行かせたくありませんでした。けれども、
すぐに食^{たべもの}べ物はなくなっていました。兄^{にい}さんたちは、
またエジプトにもどらなければなりません。
こんどは、ベニヤミンをつれてね。



ヨセフは、ベニヤミンを^み見てすぐに、^{しょうにん}使用人たちにすばらしいごちそうを^{ようい}用意する
ように、^い言いました。^{にい}兄さんたちもみんな^{しょくじ}食事によばれましたよ。「おまえた
ちの^{ちち}父は、まだ^い生きていて、^{げんき}元気なのか？」ヨセフはたずねました。もしかした
ら、ヨセフは、どのようにして^{かぞく}家族みんなを、ここエジプトにつれてくること
ができるのだろうって、^{かんが}考えていたのかもかもしれませんね。



それにまた、ヨセフは、^{にい}兄さんたちが^{なんねん}何年かまえに^{じぶん}自分
にしたことを、ほんとうに^{わる}悪かったと^{おも}思っているか
どうか、^し知りた^{おも}いと^{えんかい}思いました。そこで、**宴会**のあ
と、ヨセフはわざと、^{にい}兄さんたちが
^{ぬす}盗みをはたらいたと^い言^せって責めました。
そして、^いこう言^いいました。「おまえ
たちに、^{ばつ}罰をあたえる。



ベニヤミンは、^{わたし}私のどれいとなって、
^{いっしょう}一生ここにいて、はたらいてもらお
う。」



すると、兄^{にい}さんのひとりユダがこう^い言^いって、ヨセフに
たのみ^{わたし しゆ}ました。「私^{わたし}の主^{しゆ}よ。どうぞベニヤミンのかわ
りに、私^{わたし}をあなたのどれいとして、はたらかせて
ください。」それを^き聞^きいて、ヨセフは
わかりました。ヨセフを^う売^うったと思^う思
われる兄^{にい}さんユダは、すっかりと良^よ
い人^{ひと}にかわっていることが。





もはやヨセフは、

じぶん

かぞく

自分がみんなの家族であることをだまって

しょうにん

じん

いられなくなり、使用人のエジプト人みんなに、

でて行ってもらいました。

とうとうヨセフは

なだ

泣き出しました。

にい

「兄さん、

わたし

私はヨセフですよ。

おとうと

あなたたちの弟の。





もはやあなたたちが、
エジプトへ^う売ってしまったヨセフです。」

^{にい}兄さんたちは、
ただもうびっくり
りぎょうてん。
おそろしくなっ
てしまって、
^{なん}何にもこたえるこ
とができません。



にい
ヨセフは兄さんたちに、こわがらなくていいよって、
い
言^{かみ}ってあげました。「神さまがね、

わたし
私^{ひと}をエジプトでえらい人に
わたし
してくださったんです。私が、この
き
飢^{にい}きんのときに、兄^{とう}さんや父^いさん、
いのち
みんなの命^{たす}を、助^{たす}けることができる
よ^{たす}うに^{たす}ってね。



い わたし ちち
さあ、行って、私の父をここにつれてきてください。

わたし み
私が、みんなのめんどろを見ましよう。」

ヤコブとヨセフは、またエジプトでいっしょにくらせるようになりました。家族がみんなひとつになって、くらせるようになったのです。そう、平安に、そしてゆたかにね。



まも かみ
どれいヨセフを^{まも}守^{かみ}られる神

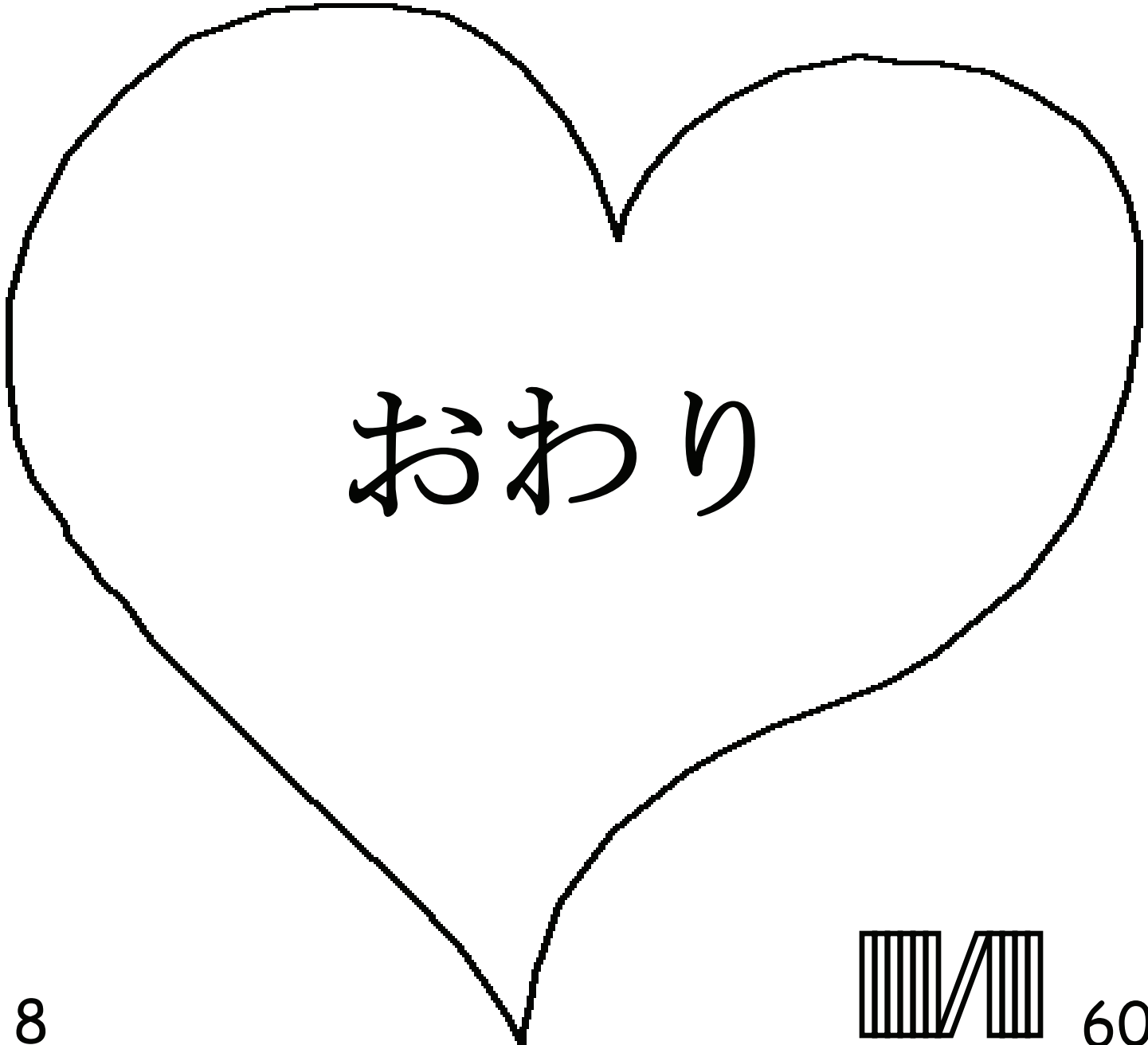
かみ み せいしょ しる
神さまの御^{かみ}ことば^み、聖書^{せいしょ}に記^{しる}されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう
創世記 **39** 章 **-45** 章

み ひら ひかり あた
あなたの御^みことば^{ひら}が開^{ひかり}かれると、光^{あた}が与^{あた}えられます。

しへん
詩篇 **119:130**





おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しっていらっしゃいます。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいますとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしよに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってくださいます。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛す神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるしてくださいます。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしよにいる
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてくださいます。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

